

平成31年第6回公安委員会会議録

日 時	自午後1時30分 2月28日(木曜日) 至午後4時10分		場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	高木委員長 原委員 山本委員 小野委員 下山委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞16件、意見の聴取16件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 「『安全・安心くまもと』実現計画2018」の推進状況(1年検証)について各推進施策の進捗状況は次のとおりである。

(1) 犯罪の起きにくい社会づくり

- ◎ 刑法犯認知件数、福祉犯検挙人員、サイバー犯罪の検挙件数の3指標が向上
- 地域警察官のパトロール等活動時間数、防犯ボランティアの団体数の2指標が同水準

(2) 県民生活を脅かす犯罪の取締り

- ◎ 振り込め詐欺等の検挙人員、暴力団員等の検挙人員、生活環境事犯の検挙件数の3指標が向上
- 重要凶悪事件の検挙率が同水準
- 重要窃盗犯の検挙率が低下

(3) 交通の安全と円滑の確保

- ◎ 高齢者の交通事故死傷者数、子供の交通事故死傷者数、交通事故死傷者数、自転車関与の交通事故件数の4指標が向上
- 飲酒運転の検挙件数が同水準

(4) テロ・災害等緊急事態への対処態勢の充実

- 緊急事態への対処態勢の充実に資する実戦的訓練回数が同水準
- 警備事件の検挙人員が低下

(5) 県民の期待と信頼に応える強い組織づくりの推進

- ◎ 民間被害者支援団体に対する被害者情報提供件数が向上
- 各種情報ツール等による情報発信回数、警察官採用試験の応募者数の2指標が同水準

推進結果については、県警察ホームページで公表する予定である。

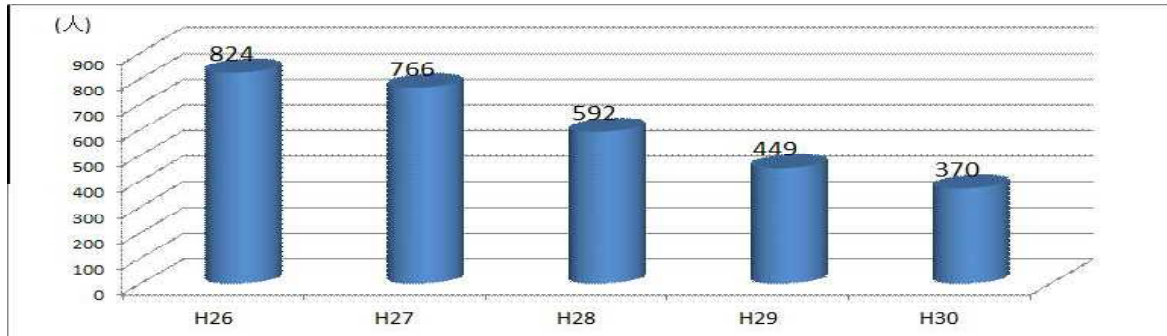
【委員からの質問等】

委員から「検証結果を2年目にどう繋げていくのか」旨の発言があり、警察から「低下している指標もあるので、それぞれ対策を講じていく」旨の説明があった。

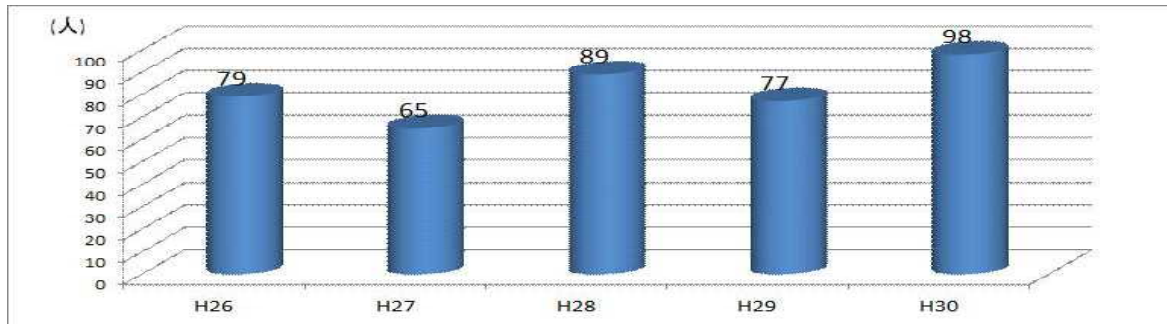
2 平成30年中の少年非行情勢等について

(1) 少年非行の概況

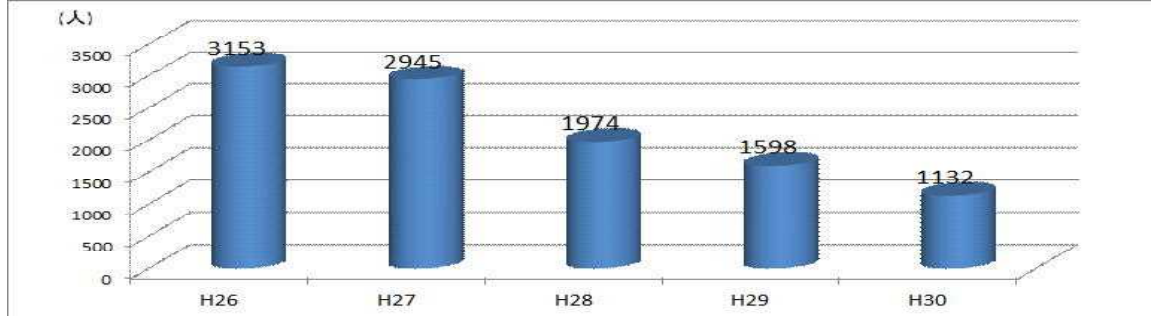
ア 刑法犯少年の検挙・補導人員



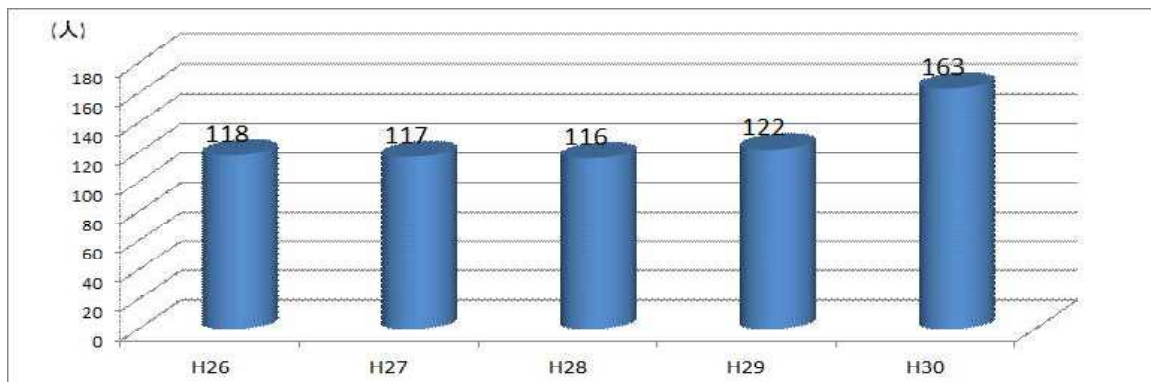
イ 特別法犯少年の検挙・補導人員



ウ 不良行為少年の補導人員



(2) 福祉犯の検挙人員



(3) 今後の推進施策

- ア 子供の安全を確保するための諸対策の推進
- イ 少年の非行防止・保護総合対策の推進

【委員からの質問等】

委員から「出会い系サイトを利用した事件が発生しており、少年犯罪が水面下で広がっているのではないかと心配している。少年の非行や補導に関し、学校との連携はどうなっているか」旨の発言があり、警察から「基本的には学校警察連絡協議会の中で、情報交換を行っている」旨の説明があった。

また、委員から「事件に対峙している警察だからこそできる情報発信がある。教育現場において、事例を交えた警察官の話は非常に効果的である思う」旨の発言があり、警察から「講演の機会があれば、警察官からリスク等の話をさせてもらっている」旨の説明があった。

3 無差別殺人予告事件の検挙について

平成31年2月20日（水）に発生した無差別殺人予告事件につき、同21日（木）、被疑者A（建設作業員、32歳）を銃砲刀剣類所持等取締法違反で現行犯逮捕した。

【委員からの質問等】

委員から「この事件のことは『ゆっぴー安心メール』で知ったが、これを見て事件に巻き込まれるという危機感に繋がり、知人にも事件のことを連絡した。このような意味で『ゆっぴー安心メール』は非常に効果があると感じた。また、翌朝には逮捕されたが、これは警察が深夜に総力を挙げて捜査した結果だと思う」旨の発言があった。

4 「熊本城マラソン2019」（第8回大会）の結果について

(1) 出走者等（最終集計）

競技種目	募集人員	出 走		完 走	
			前年比		完走率
フルマラソン	13,000人	12,352人	+882人	11,550人	93.5%
30キロ	150人	104人	+16人	89人	85.6%
復興チャレンジファンラン	1,500人	1,495人	-47人	1,495人	100%
総 数	14,650人	13,951人	+851人	13,134人	94.1%

(2) 観客数（主催者集計）

約26万5千人（前年比+2万人）

(3) 交通渋滞等の状況

路 線	交差点名	方 向	渋滞長	前年比	時間
国道3号	水道町	上り(植木方面)	1.0km	-0.2km	9:22
市道(電車通り)	新町	上り(田崎方面)	0.8km	-0.6km	12:10

(4) 特異事案（雑踏事故を含む事案等）

ア 事件・事故

発生なし

イ 傷病人

5人（ランナー3人、沿道応援者2人）

ウ その他

5件（迷子3件、駐車苦情1件、規制苦情1件）

(5) 交通規制に関する問い合わせ等

ア 警察

7件（熊本中央署1件、熊本南署4件、管制センター2件）

イ 日本道路交通情報センター

10件

【委員からの質問等】

委員から「ランニングポリスの運用結果はどうだったか」旨の発言があり、警察から「警戒しながら他のランナーと一緒に走ったが、特異事案もなく終了した。警戒する姿を見せられたのでアピールにもなった」旨の説明があった。

5 南九州西回り自動車道の延伸について

(1) 延伸の概要

南九州西回り自動車道（八代市から水俣市・鹿児島県出水市等を経由して鹿児島市を結ぶ延長約140kmの自動車専用道路）の一部として整備

ア 延伸区間

芦北出水道路の「津奈木IC」から「水俣IC」までの5.6km

イ 車線構成

片側1車線

ウ 供用開始日

平成31年3月2日（土）

エ 位置図



(2) 公安委員会による交通規制

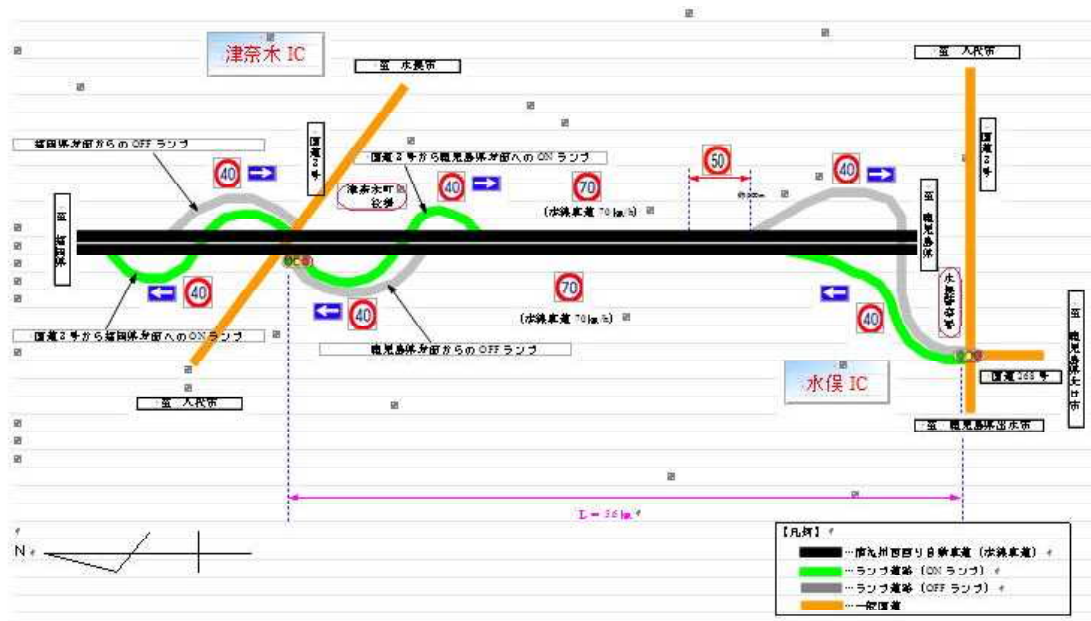
ア 最高速度

- ・ 本線車道 70 km/h
- ・ 「水俣IC」 出口手前の一部区間 (600 m) 50 km/h
- ・ ランプ部 40 km/h

イ 一方通行

ランプ部

ウ 交通規制図



6 出入国管理及び難民認定法違反事件被疑者の検挙について

平成31年2月19日(火)、ベトナム社会主義共和国国籍の被疑者B(派遣社員、29歳)他11人を出入国管理及び難民認定法違反で現行犯逮捕した。

【委員からの質問等】

委員から「今後、益々外国人の雇用が拡大し、こういう事件が増加すると思うが、本県だけでなく全国的な問題なので取り締まるべきところは取り締め、住民も外国人もみんなが気持ちよく生活できる環境を目指していく必要があると思った」旨の発言があった。

第3 報告・決裁等

1 平成31年全国優秀警察職員表彰受賞者決定の報告

首席監察官から報告が行われた。

2 熊本県公安委員会事務専決規則の一部改正の決裁

交通企画課長から説明があり、決裁が行われた。

3 平成31年第5回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

4 水俣警察署協議会委員の辞職承認等の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

5 審査請求(H30 No.7) 審理経過報告及び終結等の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

